

第 89 回野川自然の会全体会議事録

日時: 2022 年 12 月 5 日(月) 16 時～18 時

場所: 小金井市西之台会館 A 会議室

- 資料 1 水調査報告(22 年 4 月～11 月)
- 資料 2 昆虫調査報告(22 年 4 月～11 月)
- 資料 3 日本水大賞応募用紙
- 資料 4 どじょう池の活動報告(ビオトープの会)

出席者<敬称略>: 野川自然の会/藤崎、喜園、上田、田路、内田、鈴木  
北南建/鈴木  
株式会社フィスコ\*/草間、関根  
\*本年度の支援委託業者

1.議長及び書記の選出: 議長/鈴木、書記/内田

2.報告事項: 「検討事項」の時間を確保するため、「報告事項」は各自内容を確認し、不明事項はメールで鈴木または内田に問い合わせさせていただく。

<2022 年度の活動報告>

2.1 田んぼ部会より

- 1) 第 131 回田んぼデー 4 月 24 日 9:30～ 参加者 12 名(大人 9 名、こども 3 名)  
作業: 苗箱を水苗にしました。 田んぼ内の雑草除去
- 2) 第 132 回田んぼデー 5 月 22 日(日)9:30～ 参加者 12 名(大人 9 名、こども 3 名)  
作業は、水路のゴミ取り、苗の捕植、吐口の土砂上げ、苗の観察。
- 3) 第 133 回田んぼデー 6 月 26 日 9:30～ 参加者 15 名(大人 11 名、こども 4 名)  
作業は、吐口土砂上げ、畔の草刈り、稲の成長観察  
作業終了後、活動小屋サロンにて珈琲を参加者で飲んで懇談した。
- 4) 第 134 回田んぼデー 7 月 24 日 9:30～ 参加者 8 名(大人 7 名、こども 1 名)  
作業内容、田んぼの畔の草刈、吐口の土砂上げ、水路の清掃を行った。
- 5) 第 135 回田んぼデー 8 月 28 日 9:30～11:30 参加者 16 人(大人 13 人、子ども 3 人)  
9 月の稲刈りの準備の為、稲架(はさ)タテを行った。
- 6) 9 月の田んぼデーはなし(9 月 4 日稲刈り、11 日脱穀、唐箕作業があるため)
- 7) 第 136 回田んぼデー 10 月 23 日 9:30～ 参加者 12 名(大人 9 名、こども 3 名)  
作業は、藁の押切と、田んぼへの散布。その後、お米の振り分けと袋詰めを行い、参加者に小分けした。
- 8) 第 137 回田んぼデー 11 月 27 日 9:30～ 参加者 14 名(大人 10 名、こども 4 名)  
作業は、小屋の前の枯葉の掃除、田んぼに粃殻撒き、まだ受け取りに来ていない人への収穫米の配付を行った。

2.2 イベント

## 1) 田植え関係

- ①田植え:5月15日(日)実施、会員に限定、参加者99名(大人59名、子供37名、北南建3名)。コシヒカリと黒米を田植え。
- ②稲刈り:9月4日(日)実施、会員に限定、参加者63名(大人39名、子供21名、北南建3名)
- ③脱穀・唐箕:9月11日(日)実施、会員に限定。参加者57名(大人33名、子供21名、北南建3名)
- ④粃すり・精米:10月18日(火)9:00~12:45学芸大設備を借りて実施。参加者11名(会員7名、北南建3名、学芸大1名)  
作業:1)「黒米」の粃すり:8.5kg  
2)「コシヒカリ」の粃すり・精米;75.3kg  
3)収穫量:総計83.8kg
- ⑤収穫米の配付(収穫祭なし);11月5日10:00~12:00会員に活動支援小屋前で配布。

## 2) 野川環境フィールドワーク2022参加

9月10日10:00~12:00

主催:小金井市 運営:NPOこがねい環境ネットワーク

後援:東京都北多摩南部建設事務所

野川の植物や昆虫の観察、安定した生態系をおびやかす外来植物の駆除、野川を通じて海を漂うプラゴミになる前のごみの回収を行い野川の環境の今を観察する。

当会では「外来植物駆除グループ」「昆虫観察グループ」を担当して、会員が講師になって協力した。当日は好天に恵まれて、参加応募した市民のみなさんにも好評だった。

## 2.3 モニタリング部会より

### 1) 活動報告

#### 【野鳥】

(1)4月9日(土)9:10~10:30 天候:晴れ

モニタリングを11名(担当含め会員10名、一般参加1名)で実施

晴天に恵まれ、汗ばむくらいの気候であった。武蔵野公園域外でツミの鳴き声を聞いた。

千川上水吐水口付近ではカワセミの飛翔を確認できた。調査実績は以下のとおり

カルガモ4、キジバト2、カワセミ1、コゲラ2、ヒヨドリ2、モズ1、エナガ4、シジュウカラ11、メジロ2、スズメ2、ムクドリ13、ハシボソガラス6、種不明カラス1(計13種、51個体)

(2)5月調査は雨のため中止

(3)6月11日(土)9:00~10:20 天候:曇り

モニタリングを7名(担当含め会員6名、一般参加1名)で実施

やや汗ばむ天候。範囲外であったが武蔵の公園でアオゲラの声を確認した。ムクドリは巣立ち雛を交えて草間で活動していた。二枚橋付近では、カルガモの子連れ(雛5羽)を確認した。はけ斜面ではコジュケイ、ウグイス、にぎやかなガビチョウも聞いた。

調査実績は以下のとおり

アオサギ1、カルガモ10、キジバト3、コゲラ3、ヒヨドリ4、シジュウカラ12、スズメ9、ムクドリ20、ハシボソガラス3、ハシブトガラス4、ドバト1(計11種、70個体)

(4)7月9日(土)9:00~10:00 天候:晴れ

モニタリングを7名(担当含め会員6名、一般参加1名)で実施

梅雨明けの空の下での調査となった。野川では親鳥と同じ大きさに成長したカルガモが見られた。調査実績は以下のとおり

カルガモ7、キジバト3、ツバメ2、ヒヨドリ3、シジュウカラ3、メジロ2、スズメ4、ムクドリ4、ハシボソガラス5 (計9種、33個体)

(5)8月13日(土)9:00~10:00 天候:曇りのち雨

モニタリングを5名(担当含め会員4名、一般参加1名)で実施

曇り空のもとで開始。調査区外だが、はけで囀るウグイスの音が聞かれた。やまべ橋を過ぎたあたりで急激な雨に降られたため、開始20分時点で終了とした。

調査実績は以下のとおり

カルガモ3、カワセミ1、シジュウカラ1、スズメ1、ハシボソガラス3、ハシブトガラス1 (計6種、10個体)

(6)9月17日(土)9:00~10:00 天候:晴れ

モニタリングを4名(担当含め会員3名、一般参加1名)で実施

暑さの残る朝の調査となった。野川では子育てを終えたカルガモが見られるようになり、モズを確認した。また、調査範囲外のはけではガビチョウが盛んに鳴いていた。

調査実績は以下のとおり

ダイサギ1、カルガモ7、キジバト1、アオゲラ1(声のみ)、モズ2、シジュウカラ7、メジロ1、スズメ7、ハシボソガラス1、種不明カラス1 (計10種、29個体)

(7)10月8日(土)9:00~10:15 天候:曇りのち晴れ

モニタリングを4名(担当含め会員3名、一般参加1名)で実施

調査実績は以下のとおり

ダイサギ(1)、アオサギ(1)、カルガモ(11)、キジバト(4)、ヒヨドリ(26)、モズ(5)、シジュウカラ(18)、スズメ(6)、ムクドリ(12)、ハシボソガラス(28)、ハシブトガラス(13)、種不明ガラス(2)、ホンセイインコ(2)、ノビタキ(1) (計14種、130個体)

(8)11月12日(土)9:00~10:17 天候:晴れ

モニタリングを6名(担当含め会員4名、一般参加2名)で実施

暖かい気候の中での調査となった。調節池周辺ではモズが頻繁に高鳴きしており、樹上でウグイスの鳴きまねをするのも聞かれた。また、一羽のオスがメジロを捕獲し、藪のなかで羽毛を繕っているシーンも確認できた。

調査実績は以下のとおり

カルガモ27、キジバト4、コゲラ1、モズ3、ハシボソガラス19、ハシブトガラス7、不明カラス3、シジュウカラ10、ヒヨドリ11、メジロ1、スズメ6、ハクセキレイ2、カワラヒワ3 (計13種、97個体)

【水】 pH計測は今年度からパックテストを使用。 <資料1>

(1)4月10日(日)13:30~14:30 晴れ参加者4名で実施。

COD値:ため池5、北側水路水源7、湿地出口8、深池出口7

野川の堰では魚道で越流。ため池・水路・田んぼ・湿地・深池で水が十分流れている。今回初めてPHをパックテストで計測。CODと同様の基準色との比色で決定するが、難しい。

「ため池」で前回使用のリトマス紙結果(約6)と比較したが、パックテストの方が色の変化が明確で、信頼が高いと思われる。

(2)5月14日(土)曇り 参加者3名で実施。

COD値:ため池5、北側水路水源2、湿地出口8、深池出口8

昼前までの雨が上がり、野川の堰では魚道で越流。ため池・水路・湿地・深池で水が十分に流れている。田んぼは翌日の田植えのため、水流入はストップ。

(3)6月18日(土)曇り 会員1名で実施。

COD値:ため池3、北側水路水源3、湿地出口3、深池出口4

野川の堰で、魚道で越流のみだが、水流は豊富。ため池、水路、湿地、深池には十分に水あり。ため池には釣り人が多く、子供が多く参加している。深池・観測井戸付近の草がかなり混んできており、観測に支障が出そう。

(4)7月9日(土)晴れ 会員1名で実施。

COD値:ため池3、北側水路水源3、湿地出口5、深池出口5

野川堰では全体で越流。ため池での釣りは9名(子ども4名)。田植えが終わった田んぼには十分に水が入り、稲が順調に育っている。湿度計測忘れ。

(5)8月14日(日)晴れ。参加者2名で実施。8月からどじょう池の水質検査も実施。

COD値:ため池6、北側水路水源4、湿地出口7、深池出口7、どじょう池出口7

土曜日に台風8号が過ぎ、野川堰では全面越流。ため池、田んぼ、湿地、深池に十分水が入り、半湿地(土採場)にも水が貯まっていた。どじょう池の水質調査も開始、田んぼの間のあぜ道に鴨が2羽おり、糞を食べている模様。

(6)9月10日(土)快晴。会員1名で実施。

COD値:ため池5、北側水路水源4、湿地出口5、深池出口4、どじょう池出口7

「稲刈り」実施1週間後。野川堰では全面越流。ため池、田んぼ、湿地、深池に十分水が入っている。

(7)10月9日(日)曇り。参加者2名で実施。

COD値:ため池4、北側水路水源4、湿地出口3、深池出口4、どじょう池出口4

「脱穀・唐箕」が終わり、田んぼに切り藁をまいている。雨が多く、野川堰では全面越流。ため池、田んぼ、湿地、深池にも十分水が入っている。(報告者 鈴木)

(8)11月12日(土)晴れ。会員1名で実施。

COD値:ため池4、北側水路水源3、湿地出口5、深池出口5、どじょう池出口5

野川堰では全面越流。ため池、田んぼ、湿地、深池にも十分水が入っている。第一調節池内の草刈りを実施中。実生木が多く伐採され、池全体の見通しが良くなった。湿地・どじょう池の水草も全て伐採。

## 【植物】

1)4月9日(土)2名で実施

雨で平日に延期した植物モニタリングですが、2名にて第1調節池をひとつおりに観察した。まだ小さかったり、花が咲いていなくて区別が難しいもの、毎年あるのに見つけれなかったものは例年4月いっぱいかけて、探している。

2)4月17日(日)3名で実施

## 【昆虫】 <資料2>

トンボ類ルートセンサス。トンボをメインに、その他の昆虫類も記録。

- 1) 5月21日(土)第83回実施
- 2) 6月18日(土)第84回実施
- 3) 7月16日(土)第85回実施
- 4) 8月20日(日)第86回実施
- 5) 9月10日(土)第87回実施
- 6) 10月22日(土)第88回実施
- 7) 11月19日(土)第89回実施

#### 【水生生物】

- ・5月予定のモニタリングはコロナ感染防止のため中止。
- ・8月予定のモニタリングはコロナ感染防止のため中止。
- ・11月予定のモニタリングはコロナ感染防止のため中止。

#### 2) 活動予定

- ・野鳥：12月～3月 第二土曜日 9:00～
- ・水：12月～3月 第二土曜日 13:30～
- ・植物：年度内予定なし
- ・昆虫：年度内予定なし
- ・水生生物：年度内予定なし

#### 2.4 事務局・会計より

##### 1) 活動報告

10月16日(日)第25回日本水大賞に応募 <資料3>; 「応募用紙」を会員にメールで提示済み。何かあったら連絡していただく。

この賞は、水循環系の健全化や水災害に対する安全性の向上に寄与すると考えられる活動の表彰。野川自然の会の団体活動で応募した。

<http://www.japanriver.or.jp/taisyo/application.htm>

##### 2) 会計

##### 3) 外来植物駆除； 今後「植物モニタリング」で報告する。

- ・5月18日(水)3人で特定外来種オオカワヂシャ駆除をした。

小金井新橋から、川の中を長靴で歩けるところまで、堰からやまべ橋に向けてとやまべ橋から下流にむけて1時間駆除作業を行った。

- ・6月1日(水)9:30～10:30

やまべ橋から下流に向かって野川の中の作業を行って特定外来種のオオカワヂシャを駆除した。在来のカワヂシャも咲いているようだった。

武蔵野公園意見交換会について

##### 4) 第3回「武蔵野公園生物多様性保全利用計画」意見交換会報告

自然の会から喜園事務局長が参加

日にち: 5月25日

テーマ: 修正保全利用計画について

## 2.5 定例作業の報告（毎月第一土曜日が定例作業日）

### 1) 4月2日(土) 9:30～11:00 の参加者 9 名(大人8名、子ども1名)

苗代の観察と野川口の土砂あげ、米ぬかまき、田植え時に苗を植える目安のロープを作り直した。第1田んぼの畝の間が昨年60センチだったものを40センチにした。

### 2) 5月7日(土) 9:30～11:15 参加者 11 名。畦の草刈り、田んぼのゴミ拾い、苗代の稲の観察、苗への肥料やりをしました。肥料のカツオソリューブルの匂いをみんなで嗅いでみたら、塩辛の匂いだった。

今日もとんぼたんぼは子どもたちで賑わっている。

ため池のそばの半湿地まわりでは、ニガナの群落が花ざかりだった。

### 3) 6月4日(土) 参加者9人

半湿地の在来植物の観察と周辺のブタナ・セイタカアワダチソウの駆除

(在来植物はコウガイゼキショウ、アゼナルコ、ミゾコウジュ、ミコシガヤ、イ、周辺にニガナがありました。)田んぼの稲の観察、欠けているところへの補植、野川口の土砂揚げ、野川堰取水口のゴミ取り、草刈り、を行った。

### 4) 7月2日(土) 9:00～10:30 参加者 7 人(大人 6 人、子ども 1 人) 田んぼまわりの草刈り、深池入口草刈り、吐口土砂上げ、剪定バサミの研ぎでした。第2田んぼに花が咲くまで抜かないで置いた草は、今日花が咲き種名が分かったので抜いた。キシウスズメノヒエという外来種だった。

### 5) 8月6日(土) 参加者 8 人。水路掃除、草刈り、稲の観察を行った。

参加者は大人 6 人子ども 1 人。

### 6) 9月3日(土) はなし(9月4日が稲刈りのため)

### 7) 10月1日(土) 9:30～11:30 参加者 18 人(大人 12 人、子ども 6 人)

稲わらを刻んで田んぼに撒く。田んぼまわりの草刈り。

大豆の原種といわれるツルマメが旺盛に実をつけていた。

### 8) 11月5日(土) 参加者(会員 24 名とその家族)

収穫米の小分けと種粃の枝梗(しこう)取りを行った。

## 2.6 第 15 回運営会

日時; 2022 年 4 月 3 日(日) 15:00～

場所; 中町天神前集会所 会議室 (住所/中町 1-7-7)

議題; 総会の日程調整・準備方針等

可能であれば、「どじょう池」について

なお議事録は会 HP の会議録を参照

<https://nogawashizennokai.jimdofree.com/>

## 2.7 2022 年度定期総会

日時: 5 月 9 日(月) 18:00～20:00

会場: 小金井市市民会館 萌え木ホール B 会議室

なお議事録は会 HP の会議録を参照

<https://nogawashizennokai.jimdofree.com/>

## 2.8 自然再生地区の見学と話し合い

どじょう池の今後の管理と自然再生地区の管理やモニタリングについて、現地を見ながら話し合いを行った。

日時； 2022年6月27日(月) 13:30～15:30

場所； 第二・第一調節池内

参加者7名(平井、藤崎、喜園、上田、丹羽、田中、鈴木)

打合せ内容；

### 【第一調節池内】

#### (1) 草地化実験地区；

実験地区内に実生木が発生し過ぎ、重機で抜根せざる得なくなった。→年度内に工事予定。

- ・工事後は年2回程度、人力で実生木を除去する必要がある。
- ・地区内に人が入れるようにコンクリート・タイルを敷設する。
- ・地区内をゾーニングし、年1～2回草刈りをローテーションで実施してはどうか。

#### (2) 野川の堰

- ・堰上流で泳いでいる人から最近臭くなったとのクレームがあるが、川底の泥に下水道の越流が残ることが原因。除去は難しいとのこと。
- ・取水口のゴミよけ網のサイズが細かすぎるので、0.5～1cmのサイズのステンレス金網に交換することを北南建に提案する。

#### (3) ため池

- ・次回かい掘りの時期を調整する必要がある。
- ・かい掘り方法は、池内の魚等を保護し、バキュームで泥を除去する。

#### (4) 水路周り

- ・実生木が繁茂し、遊歩道から調節池内が見えない。→年度内に伐採が予定されている。

#### (5) 田んぼ

特になし

#### (6) 湿地

- ・水面が見えないほど水草が繁茂している。→年度内に工事が予定されている。

#### (7) 深池

- ・深池面がよく見えず、危険なので、フェンス内草刈りを北南建に要求する。

#### (8) どじょう池

- ・年度内に重機による浚渫や柔らかくなった池底を固めるためのバラスの敷設などが予定されている。
- ・秋に、施設(どじょう池他)周りの草刈りが予定されている。
- ・これまでの管理団体(ビオトープの会)により、泥すくい・草刈り・水路の石(いきものの住みか用)戻し・ゴミ清掃が行われてきたが、泥すくい・草刈りは北南建にお願いし、野川自然の会では可能な範囲で管理する。
- ・定例作業日で実施するか、どじょう池作業の日を定例的にもうけるか、一般参加者を募ったイベントで掃除などを秋頃行うか、検討する。
- ・どじょう池からの流出水を深池導入に一本化するか、協議会に検討を依頼する。

## 2.9 草刈り下見立ち会い

6月29日(水)自然再生地区の今年度の草刈りについて、北南建と業者、野川ほたる村、野川自然の会の現地打ち合わせを行った。

どじょう池の周囲は湿地、深池と同様に周囲1m幅で年2回草刈りを行う。深池の柵の中も要望したが、今年度は無理とのこと。

田んぼ以東に何本か設定した通路、水路両側も年2回行う。田んぼより西側は南半分が年2回、北半分が年1回。

北南建からの今年度の工事資料を総会資料と一緒に配る。10ページ「U字溝(浚渫及び上蓋設置図)」については、上蓋設置箇所は溜池に降りるところ(利用が多く法面の土がくずれるため)、溜池から側溝への木柵水路の一部(草刈り機の通行で壊れるため)とのこと。

## 2.10 野川自然再生協議会報告

日時:10月24日(月) 18:30~20:40

場所:小金井市民会館「萌え木ホール」3F 会議室

出席者<敬称略>

北南建:工事第二課/富澤課長・鈴木課長代理・飯島、管理課/松村課長

行政:国交省河川環境課長の代理、東京都中小河川計画担当課長の代理、小金井市環境政策課長

公募委員:平井会長、野川ほたる村/神田、野川自然の会/鈴木

内容;

### 1) 第七期委員改選に伴う要綱の確認、会長・副会長の選出

①第七期委員; 公募/12名、学識経験者/土屋前橋工科大学名誉教授、行政/国交省1名、小金井市2名、東京都5名

②要綱の改正; 委員の任期「2025年3月31日」に変更

③会長に「平井」さん、副会長に「岩村」さん、「高橋(利)」さんが推薦され、出席者間では承認されたが、出席者が少なかったため、メールにて各協議会委員に確認する。<北南建>

### 2) 各種モニタリング結果の報告

- ・東京都及び野川自然の会が令和3年度に実施したモニタリング結果を事務局が報告。
- ・「生息生物の経年変化」では植物以外は自然再生事業の効果(増加の傾向等)が見えないが、モニタリング方法の見直しや野川本川の変化の影響を考慮した分析等をコメント。

### 3) 「野川自然再生に伴う施設維持工事」の報告

- ・チラシで関係者に周知している。南小・武蔵野公園に配布し、各掲示板に貼付。
- ・10月25日から工事が開始される。R5年3月末までが工事期間。
- ・施設維持工事に伴う「生きもの救出作業」を11月28日(月)~29日(火)に「協議会委員」「施工業者」「行政職員」の協働で実施する予定。28日(月)午後に捕獲作業を実施。委員は見学のみでも可。

### 4) 「どじょう池」の今後の維持管理について

- ・「どじょう池」の維持管理を「野川自然の会」に移行することが承認された。
- ・「野川自然の会」は可能な管理方法を検討し、北南建に報告する。<野川自然の会>



- ・「野川自然の会」が管理できない作業範囲については、北南建で対応を検討する。
- ＜参考＞前管理担当の「ビオトープの会」では、どじょう池の泥除去、池・水路周囲の草刈り、水路の整備などを毎月実施。

#### 5) 今後の予定

- ・12月5日(月)(or12日(月)) 13:00～15:00 「野川自然再生に伴う施設維持工事」の現場見学会
- ・3月上旬 第66回自然再生協議会「自然再生区域の維持管理方針(草刈り、どじょう池管理等)」 @萌え木ホール

#### 6) その他

- ・野川本川の水不足時の「水」の管理方法の改善検討を依頼した。はけの森内のため池Ⅱの整備・旧M邸等の井戸の活用等。

#### 2.11 施設維持工事の現状報告＜北南建からの説明＞

- ・工事範囲はオレンジネットで区分けしており、工事の広報板を立てている。
- ・「湿地」を現在浚渫中。
- ・「どじょう池」は12/20に東半分の泥をバキューム除去する。すでに東側の水生植物は除去済み。池周りの草刈りは年2回実施するが、西陽が強いので水温が上がらないように池周り西半分の草を残す。
- ・「野川本川」の実生木を現在伐採中。
- ・「U字溝」の浚渫は今年中に行う。浚渫前に溝の中の石を取り出し、浚渫後にもとに戻す。水路周りの草刈りは、水路の水温が上がってしまうことから年1回(秋)実施する。
- ・11/28(月)に工事に先立って側溝やどじょう池、湿地で生物捕獲作業実施(在来種は深池に放流。外来種のカワリヌマエビ、コイ、カワムツ、アメリカザリガニは処分)
- ・年内は湿地の整備と実生木の伐採を予定。
- ・年明けから第二調節池の工事や野川本川の護岸の補修などを実施する予定。

### 3. 検討事項

#### 3.1 「どじょう池」の管理方法について

##### 1) ビオトープの会による管理内容について ＜資料4＞

＜7月の報告書例＞

##### 1. 湧き水調査

##### 2. どじょう池の日

##### ① どじょう池周りの状況調査

##### ② 作業内容 泥あげや草木の剪定 どじょう池や水路周りの草刈り

##### ③ 生き物観察調査 側溝とどじょう池 昆虫類の観察記録 鳥類

##### ④ 水温調査

○月に一度第4日曜日に活動

○月半ばで中間観察 作業 (以前は会員一人で行っていた)

内容としては②どじょう池の日 の作業、観察内容等

##### 2) 野川自然の会での管理作業内容について

- ①作業内容の検討； ・「どじょう池」周りの草は年 2 回（8 月初、10 月末）北南建で草刈りするが、繁茂がひどくなった場合（6、7 月頃）に野川自然の会で草刈りを実施する。  
・「どじょう池」下流の水路整備・維持管理については神田さんを交えて検討する。  
・U 字溝の中の石が外に出ていたら気が付いた人が溝に戻す。  
・どじょう池の水質の調査内容・方法は石井さんに確認する。
- ②作業体制の検討； ・基本は田んぼデーや定例作業日に実施するが、余裕がない場合は別途実施日を設定する。
- ③実施頻度の検討； ・草の繁茂がひどくなった場合（6、7 月頃）に実施する。

### 3.2 湿地・草地化実験区域の管理について

- ①湿地； 湿地内草の管理 → ・浚渫後は水生植物（ガマ等）の移植は行わず、当面様子見し、状況が変わったときに（協議会にて）検討する。
- ②草地化実験区域； 実生木の除去作業；  
→ ・北南建で実施する年 2 回（7 月下旬くらいと秋）の草刈り時に「実生木の抜根」も行う。  
・残った実生木の除去を野川自然の会で実施することになるが、実施方針は状況次第で検討する。

### 3.3 子ども連れ会員への対応について

- ①田んぼデー・定例作業日での対応； 参加している子ども達は現状で楽しんでいるので、当面様子見する。
- ②情報提供の方法（野川自然再生事業・再生協議会・野川自然の会の歴史など）；  
nogawanature のメールで提供する。
- ③家族会員の保険対象枠を広げるため、年間ボランティア保険の内容（986/人・時間）を見直す。保険について、とりあえず定例作業の参加者に、作業に来た時に名前を書いていただくことで様子を見る。問題が発生した時に話し合うこととする。

### 3.4 広報について

- ①掲示板の活用； 年度初めにイベント計画をチラシで知らせることを検討する。  
掲示板のポスターを更新する（年間の予定をつける）。  
（ポスターの原画は喜園さんが探す。）
- ②他団体のイベント（展示会等）への参加； 別途検討。
- ③学校との連携等； 別途検討。

### 3.5 その他

田路さんからの次の提案を了承する。

知人の版画作家から田植えの版画の提供があった。掲示板と田んぼ横の看板に田植え案内の装飾として版画の写しを掲出してよいか。

喜園さんからの次の提案を了承する。

掲示板の上にタイトル(例:野川自然の会の掲示板)をつけたい(※)。

※西部公園パートナーズからの要望あり

次回の日程: 2023年3月頃(総会準備のため3月上旬予定の第66回自然再生協議会開催後に行いたい) → 2023年3月15日(水)、16日(木)で調整する。<事務局>

後日、3月15日(水)18時からで北南建に会場確保を依頼することになった。

(結果、第90回全体会は3月15日(水)18時30分から萌え木ホールB会議室(商工会館3階)で確定)